



CONTENTS	【1面】特集インタビュー 山下 泰裕さん	【2面】社会性育むスポーツの精神 中体連副会長・木ノ本 静次さん／高体連副会長・江畑 政彦さん	【3面】高校における文化活動 高文連会長・工藤 良裕さん	カンコー 学び プロジェクト
	【4面】学校革命 学校法人 誠心学園 浜松開誠館中学校・高等学校 理事長・高林 一文さん	シリーズ 先生リレー 福岡県立玄洋高等学校教諭・平川 友之さん	コアム・ヴモニター校 東京都板橋区立赤塚第一中学校長・大河原 嘉朗さん	

ひんとづくり インタビュー 山下 泰裕さん

【Vol.2】 東海大学理事・副学長、全日本柔道連盟副会長

「人間としての己を磨くこと」

子どもとともに学ぶ気持ちを忘れずに

武道・スポーツを通じて、今の子どもたちに伝えたいこと、そして子どもの能力を引き出す指導者へのメッセージとは。ロサンゼルス五輪で金メダルを獲得するなど世界で活躍し、引退後も柔道界を支え続ける山下泰裕さんにうかがいました。



やました・やすひろ 1957年熊本県生まれ。1977年の日ソ親善試合から、現役引退する1985年の全日本柔道選手権優勝まで203連勝(7引分を挟む)の記録を持ち、「史上最強の柔道家」と呼ばれた。全日本柔道選手権では9連覇の偉業を達成。1984年のロサンゼルス五輪では、右足を負傷しながらも勝ち抜き、金メダルに輝いた。同年、国民栄誉賞を受賞。引退後は全日本柔道男子強化ヘッドコーチ、国際柔道連盟教育コーチング理事などを歴任した。現在、東海大学理事・副学長、全日本柔道連盟副会長、認定NPO法人柔道教育ソリダリティー理事長。柔道8段。

幼い頃はとてもやんちゃで暴れん坊だったんですが、柔道と素晴らしい恩師に出会い、熱中していく中で性格も変わっていききました。中学生の頃は柔道が大好きで、いつも練習していました。そんなとき恩師から掛けられた「柔道を通して学んだことは必ず人生に生きてくる」という言葉は、今でもよく覚えています。柔道を通して学んだあいさつや礼儀などを、学校や家庭といった日常生活の場でも同じように実践するようにと、恩師はいつも教え諭していました。それは柔道創始者・嘉納治五郎師範の人づくりの哲学にも通じることを後になって知り、改めてその言葉の重みを実感しました。

武道は優れた技を習得し、相手に勝つことが重要ではなく、礼儀や相手への態度、思いやり、仲間とのつながりを学び、人生に生かすことが何よりも大切なことです。武道は人を育て、つくるものだと、私は考えています。

人は生きている限り、成長し続ける生き物。子どもと同じように自分も成長しているんだ、一緒に勉強していこうという気持ちは大切です。日々の職務がどんなに忙しくても、少しずつでも自分を磨く努力を続けてほしいですね。

教員を目指す教え子を送り出す時には、いつも「子どもを磨く前に、まず自分を磨かないといかんぞ」と声を掛けてやりまします。子どもの可能性を引き出したい、立派に活躍する生徒に育てたい、先生なら誰でもそういう思いを持っているでしょう。しかし、子どもを伸ばすことばかりに気持ちを向けすぎて、自分自身を磨くことを疎かにしてしまう人も多いです。先生になってからが本当の勉強だと思います。

自分を磨き成長することが、子どもの成長につながる

す。中学校で武道が必修化されましたが、子どもたちが武道の精神や日本の伝統文化を学び、その後の人生に生かしているよう、現場の先生たちには導いてもらいたいですね。

そして先生を一番成長させてくれる存在は、少々手を焼くような難しい生徒。誠意を持って語りかけても分かってくれない、とてもすれば反発する、そういった生徒から目をそむけず、真摯に向き合っていくことが大切です。相手に伝わるように何度も試行錯誤し、粘り強く教え続けることで、自分なりの指導法ができたり、自信になったりと指導者自身の成長につながっていくのです。優秀な生徒ばかり指導していても、指導者の成長にはなりません。

指導で最も難しいのは、子どものいいところ、光るところを見抜き、引き出してあげること。私もまだまだ十分にできないけれど、それができる指導者こそ、本当の指導者と呼べるのではないのでしょうか。

大学柔道部の監督になりたての頃、柔道部に白血病の子どもの血液の提供をしてほしいという呼び掛けがあり、協力したことがありました。後日、その子の母親がお礼で来たとき、ある部員が頻繁に見舞いに訪れ、何



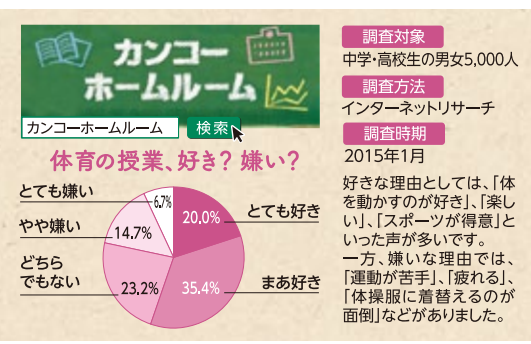
いろいろな角度から向き合い、子どものいいところを見抜く指導で最も難しいのは、子どものいいところ、光るところを見抜き、引き出してあげること。私もまだまだ十分にできないけれど、それができる指導者こそ、本当の指導者と呼べるのではないのでしょうか。

今の時代、自分の指導法に不安を抱く先生も多いでしょう。そんな時は一度、「先生」だから教えないといけないという考えを取り去ってみてはどうでしょうか。自分も生徒と一緒に学んでいくんだという気持ちがあれば、少しは肩の力が抜けるかもしれませんよ。(取材／三ヶ田浩二)

人は認められたり、評価されると内から限らないエネルギーが湧いてくるもの。一側面だけで評価するのではなく、できるだけ多面的に見て、いいところを見つけてあげる。そしてそれに光をあて、伸ばしていく。それが教育で一番大切なことだと思います。

度もその子を励ましてくれたと聞きました。その部員はあまり上達が良くなく、私が冷たく厳しくあたっていた4年生でした。私は彼の行いを部員全員の前で報告し、讃えました。きっと4年間で初めて褒められたと思います。その後、彼は一生懸命に練習するようになり、最後は胸を張って卒業しました。

度もその子を励ましてくれたと聞きました。その部員はあまり上達が良くなく、私が冷たく厳しくあたっていた4年生でした。私は彼の行いを部員全員の前で報告し、讃えました。きっと4年間で初めて褒められたと思います。その後、彼は一生懸命に練習するようになり、最後は胸を張って卒業しました。



楽しさ・喜び共有できる環境を

公益財団法人日本中学校体育連盟副会長 木ノ本 静次氏

地域の協力得て負担を軽減

部活動は学校生活の中で非常に大きな役割を占めています。一方で、教職員の過重な負担が近年問題になっています。長野県では、部活動の朝練習が原則廃止になりました。生徒が授業中に居眠りをして、授業に集中できないなどの弊害が出てきたからです。朝食もしっかりとれず、生活のリズムを崩し

チームやクラブチームなどと連携しながら、スポーツ分野での地域資源を活用していく。それによって、いくらでも教職員の負担軽減につながればと思います。本校にも、学校の部活に加えて、ダンススタジオに通うなど、別の場所で目的を実現させている生徒もいます。テニスや卓球、水泳など専門性の高い種目は特にその傾向がみられます。

基本的な社会ルールの指導も

中学校の部活動の特徴として踏まえておきたいのは、高校に比べて、さまざまなレベル・個性の生徒が混じり合っている点です。不器用だけどスポーツが好きな子、人の世話が好きな子、整理整頓の上手な子など、実に多彩です。大会の時には、主力選手ではないその子たちが、プログラムの配布や観客席の清掃などで力になって支えてくれます。運動能力にだけ目を向ける

部活動は、あくまで学校の教育活動の一環に位置づけられていますから、子どもたちが楽しさやうれしさを十分に体験できるものであってほしいですね。その上で、あいさつをする、身なりを整える、遅刻をしないなど、基本的な生活習慣や社会ルールを、この時期にきちんと教えることが大切です。そのうちできるようになるだろうと、注意を払わず子どもに任せてしまった結果、自覚のないまま社会に出て苦労する子どもも出ています。必要場合は本気で叱る。まずは、周囲が「本気」で子どもに接することが大切だと思います。（取材／吉田克彦）



きのもと・じょうじ
(公財)日本中学校体育連盟 副会長
近畿中学校体育連盟 会長
大阪中学校体育連盟 会長
昭和29年12月 大阪府生まれ。大阪体育大学体育学部体育学科卒業後、大阪市公立中学校教諭、大阪市教育委員会指導主事、大阪市教育委員会学校体育係長を歴任。現在、大阪市立下福島中学校長

中高生の体育系部活動の意義とは？

社会性育むスポーツの精神

中学生や高校生にとって、学校生活の中でも重要な部分を担う部活動。少子化や長時間の練習など、体育系部活動をめぐる課題が指摘される中、スポーツの意義や指導者が心掛けたいことはなにか。中体連副会長・木ノ本 静次さんと、高体連副会長・江畑政彦さんにお話をうかがいました。

特質を生かした部活動の維持を

公益財団法人全国高等学校体育連盟副会長 江畑 政彦氏

部活動における少子化の影響

近年の少子化は、学校教育にもさまざまな影響を及ぼしていると感じます。保護者の過保護や過干渉に加え、今の子どもたちは良い意味での競争心が希薄になってきているのではないかと思います。部活動の維持にも影響が出始めています。日本の高校では、部活動の加入は原則一種目ですが、アメリカのハイスクールでは、夏は陸上や高校野球、冬はラグビーといったようにシーズンごとに複数のスポーツを楽しむことがで

きます。近い将来、日本もそんなスタイルを導入してもいいのではないかと思います。最近では、外部指導者との連携や起用なども検討されています。卒業生に声を掛けて、部活動OBとして指導に参加してもらったり、大阪府の体育科のある高校では、体育館競技、あるいはフィールド競技のいずれかに特化して部活動を強化するなど、学校もさまざまな特色を出して対策を講じているようです。

人との協働精神を育む指導を

部活動における生徒指導としては、ぜひ「協働の精神」を育ててほしいと思います。社会に出て、組織で仕事をする上で最も必要とされる資質です。個人競技の場合も、自分のことだけでなく、しっかり仲間の応援もできる、一人のチームメイトを全員が信頼し支え合う、そんな豊かな人間形成の場にしてほしいと思います。そのためには、まず声に出してコミュニケーションを緊密にし、互いの信頼関係を築くことが大切です。以前は連帯責任という指導もありましたが、罰則として伝わり、ミスした人間を大勢が責めるようになり関係

が崩れます。自分の言葉で伝えて互いに気持ちを理解し合う。相手を信頼できてはじめて、試合中のブロックサインやアイコンタクトが的確に伝わるようになります。結果、強いチームづくりにもつながるのではないのでしょうか。練習内容の構成にも工夫が必要で、長時間にわたるハードな練習が必ずしも良いとは限りません。たとえば2時間という限られた時間の中でどれだけ集中力を高められるか、そんなことも考えた指導を心掛けてほしいですね。（取材／池原徹）



えばた・まさひこ
(公財)全国高等学校体育連盟 副会長
近畿・大阪高等学校体育連盟 会長
昭和30年9月 大阪府生まれ。広島大学教育学部高等学校教員養成課程体育科卒業後、大阪府立門真西高等学校教諭、(公財)大阪体育協会事務職員、大阪府立市岡高等学校教諭、大阪府教育委員会事務局教育振興室（インターハイ大阪府準備室）を経て、現在、大阪府立勝山高等学校長



くどう・よしひろ

(公社)全国高等学校文化連盟 会長
昭和31年8月 岩手県生まれ。岩手大学教育学部卒業後、岩手県立高等学校教諭、盛岡市立高等学校教諭、岩手県教育委員会事務局県立学校課管理主事、同教職員課主任管理主事、同主任経営指導主事を経て、現在、岩手県立盛岡第四高等学校長

高校生の潜在力を引き出す成長を見守る姿勢
就任以来、多くの高校生の文

生徒数減少と指導者不足
外部指導者も有効活用
近年の文化系部活動において問題の一つは生徒数の減少です。文化部に所属する生徒数が減り、クラブが存続できない場合もあります。そしてもう一つが指導者の問題。例えば吹奏楽部はあるけど指導できる教師がいないなどの問題がしばしばみられます。都市部ではOBとか地元の方に指導をお願いすることができず、過疎地では指導者を探すことが難しい。外部指導者を有効に活用していく体制づくりが必要になっているといえます。

高校生の潜在力を引き出す成長を見守る姿勢
就任以来、多くの高校生の文

文化系の部活動で指導をされている先生方には、生徒たちに達成感を実感させてほしいと思います。苦勞して一つのことをやり遂げることが次の成長につながります。そして結果を急がないこと。成長を見守り、3年間を見越した指導をしてほしいと思います。(取材／三ヶ田浩二)

文化・芸術活動に接するたび、「芸術には人を感動させ勇気を与える力がある」と実感させられました。高校生の持つ潜在力には目を見張るものがあります。全国高等学校総合文化祭での総合開会式などの準備は3年かけて行われます。担当する生徒は最初の会議の時はまだ1年生。毎回大丈夫かなと思いますが、どの県でも成功をおさめています。この3年間の成長は頼もしさを感じます。

工藤 良裕氏

公益社団法人 全国高等学校文化連盟会長

高校生の潜在力を伸ばす指導を

高校における文化活動

一方、高校生の文化系部活動の現状と課題はどのようなものでしょうか？
高文連会長・工藤良裕さんにうかがいました。



KANKO MANABI PROJECT

への取り組み事例紹介

ダンス必修化にともない、各学校のダンス授業や部活動での独自の取り組みや指導法についてご紹介します。

授業 東京都・宝仙学園高等学校

簡単なところから、徐々にステップアップを

本校では、年間通した体育の授業の中で約1カ月半、計8コマを「くるくるダンス」にあてています。最初の2時間で基本の振り付けをみんなで覚え、その後クラス内のグループに分かれて創作活動に取り組み、最後の3時間で発表作品に仕上げています。生徒も互いに教え合ったり、自主的に頑張ってくれ、その結果の受賞なのでとてもうれしく思っています。

指導では、苦手意識を植え付けないよう、最初は付き添いながら一つずつ簡単なところから始めて、そのつど達成感を味わいながら徐々にステップアップしていくよう心掛けました。ダンス部の生徒がリーダーになってうまく全体をまとめてくれた点も大きいですね。

(教諭 中込真穂先生談・取材／堀寿次)



第4回カンコーくるくるダンスコンテストにて
グランプリを受賞

授業 大阪府・大阪市立築港中学校

抵抗感を取り払いつつ、「かっこいい!」を目指す

ダンス授業が男子も必修になったので、「現代的なリズムのダンス」の授業の一環としてコンテストに参加しました。単元の関係で、ビデオ撮りまで3時間という超最速、その上、初心者男子にどう教えればよいのか？ 全ての振り付けをマスターさせるのは難しいので、歌メロの振り付けを中心に練習→グループごとに間奏部分を自由創作→ラストポーズと仕上げ、の流れで実施しました。始めはリズム感やざっくりとした振り付けを覚えてもらい、慣れた頃にステップの方向や手の位置・高さなど、全体の統一感を図りました。踊ることへの羞恥心を取り払うべく肯定的な声掛けに専念。ダンスはコミュニケーションなので、完成度よりも仲間との連帯感や達成感を大事にしたいですね。

(教諭 岡崎茂美先生談・取材／中村広正)



第4回カンコーくるくるダンスコンテスト
カンコー賞を受賞

部活動 愛知県・栄徳高等学校

真剣に取り組むことが、生徒の自信につながる

ダンス部は創部してまだ4年目。広く認知してもらえるよう吹奏楽部の定期演奏会で踊るなど、さまざまな発表の機会を作って取り組んでいます。くるくるダンスコンテストに応募したことで一つの目標ができ、生徒たちは、チーム間で意見がぶつかるほど真剣に取り組んでいました。

普段の部活動では、将来社会に貢献できる人になれるよう、基本的なあいさつ、礼儀、気配りを忘れないようにと指導しています。映像編集はパソコン部に依頼。予想以上の協力が得られ、こうした部を横断した取り組みも大きな成果です。今後もさまざまな場でダンスを披露していくことで、生徒たちのモチベーションアップにつなげたいと思っています。

(顧問 小栗麗良先生談・取材／上原良太)



第3回カンコーくるくるダンスコンテストにて
審査員特別賞を受賞

来年度のダンス授業プログラムに最適です!
新DVD Ver.3 無料 予約受付中!

- 基本ステップをインストラクターの解説付きで多数収録!
- 授業で使いやすい「ショート・ロングバージョン」を用意!
- 学習指導要領をベースに作成。カリキュラム付きで使いやすい!
- 部活動や体育祭などのイベントでも幅広くご利用いただけます!

ご希望される先生方に、
無償で提供いたします。

お申込み 同封のアンケート用紙、または
カンコー公式サイトよりお申込みください。

NSSA ダンス研修会

公益社団法人
日本ストリートダンススタジオ協会

ダンス授業が必修化されたことで、多くの教員が教え方やスキルに不安を感じています。当プロジェクトでは、これまでに全国で研修会を実施し、延べ1万人の学校教員が参加しています。

昨年12月、文部科学省後援事業の「踊育(だんい)く 教育プロジェクト」を主催するNSSAとカンコー学生服が藤井基之・文部科学副大臣を表敬訪問。子どもたちのチームワーク力と教員の技術向上を目的としたダンス授業支援が高く評価されました。

「教員向け研修会」を
全国で実施中

■ カンコー企業活動報告 ■

series 先生リレー Vol.2

～先生方の日々の雑感をリレーで綴ります～

福岡県立玄洋高等学校教諭
芸術科書道担当

平川 友之先生

平成13年から、役員として高総文祭の運営に携わってきました。これまで一番印象に残っている大会は、福島大会です。直前の東日本大震災の影響で書道部門は出品作品と全国審査のみの大会となりましたが、被災中の福島県の書道部門の生徒たちと先生方が他県の生徒たちのために、一生懸命運営にあたってくださった姿は今も忘れることはできません。現在、毎年選ばれる優秀作品をより多くの方に鑑賞して

いただきたいと東京の国立オリンピック記念青少年総合センターにて『全国高総文祭書道部門優秀作品展示』を行っています。

また、長崎大会からいただいている書道部門の『菅公賞』も生徒の大きな励みになっています。今後も全国の書道部の生徒のためその発展に寄与していきたいと考えています。

(高等学校文化連盟全国書道専門部事務局・全日本高等学校書道教育研究会副理事長)

学校法人 誠心学園
浜松開誠館中学校・高等学校

理事長 高林 一文氏

スクールイノベーション

学校革命!

定員割れに陥っていた私学を、大胆な学校改革で再建。
独自の経営者の視点と教育方針で注目を集める静岡県の中高一貫校の
理事長・高林一文さんにお話をうかがいました。

経営者視点で学校運営にメス！
財政改革と徳育教育で

生徒数が倍増

もともと私は、PTA会長から学校経営に理事として参加し、そのまま周囲に背中を押される形で理事長としての任務を引き受けることになった異色の人間です。学校経営の経験もなく、関心もありませんでした。就任当時、学校経営は非常に厳しい財政難に陥っており、中学校は生徒数一学年50人ほど。早急に大胆な学校改革が必要でした。

最初に着手したのが教職員の待遇面の見直しです。驚くほど優遇されていた待遇をまずは「公立並に引き下げました。また、教材や修学旅行の費用も、一つ一つメスを入れ大幅なコスト削減を図りました。

校舎の大規模な耐震工事も取り組まなければならない喫緊の課題でした。耐震改築にかかる建設予算は限られていましたが、安全レ

ベルを引き下げることなく達成し、県会議員や県庁も驚き視察に来るほどでした。教職員も営業経験のある人材を一般公募し、これまでの女学校から男女共学に変更するなど財政面の建て直しのために奔走しました。

次にどのように学校の特色を打ち出し生徒数を確保するか、その改革の大きな一手となったのが、徳育教育「7つの習慣J」の導入です。この子ども人間性を育てる取り組みが非常に評価され、現在は就任当初と比べて優秀な生徒が多く集まるようになりました。安心して教育に専念できる環境づくりが経営者である私の仕事。少子化社会の中で「選ばれる学校」を今後も目指していきたいと思っています。(取材/三田浩二)

この記事の詳しい内容は、カンコー公式ホームページをご覧ください。

モニター校紹介

コラムムーブモニター校
東京都板橋区立赤塚第一中学校
大河原 嘉朗 校長

―体育や部活動での指導で大切にしていることは？

生徒に明確な「目標」を持たせるという意味で、「とにかく上を目指そう。まっすぐ本気で取り組みなさい」と言っています。

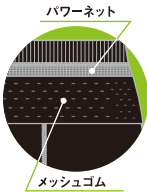
生徒のやる気を引き出すための指導方法として、最近注目しているのが「ベップトーク」です。シンブルで肯定的な言葉を使って生徒を激励するコミュニケーションスキルのことで、スポーツだけでなく、普段の教育現場にも取り入れていきたいと思っています。

―コアムーブを着用した生徒たちの感想は？

背中がしゃきっと伸びて姿勢が良くなったようだと言っています。実際にタイムが伸びたという

姿勢を正して運動
パフォーマンス向上に!

プロランニングコーチ 金哲彦氏とカンコーが
共同開発。体幹理論を活かした体育着。



ウエストの内側部分に、伸縮性の高いメッシュゴムを採用。適度なホールド感で骨盤を支えることで、姿勢の改善を促します。体幹を正しく使うことは、「体力の向上」以外にも「学習能力の向上」の可能性も秘めています。



カンコーコアムーブ

体感してみませんか?

着用モニター募集! 詳しくはこちらまで▶ **カンコーコアムーブ** で検索ください。
●部活動のチームやクラス単位、少人数のグループなど、お気軽にご応募下さい。



中高生の部活を応援するサイト

ブカツのミカタ

3月上旬
start!

●指導者向けの情報、中高生向けのトピックスが盛りだくさん。(指導者向けコンテンツ例)

水分補給のススメ

国立スポーツ科学センター 川原 貴氏監修

スポーツ栄養のススメ

大阪体育大学 岡村 浩嗣氏監修

コンディショニングのススメ

トータルコンディショニングコーディネーター 酒井 リズ智子氏監修

その他、コンテンツは続々公開予定 <http://bukatsu-mikata.jp> ヘアクセス! ※サイト公開日、サイトの内容は予告なく変更になる場合があります。

カンコータイムズのアンケートに答えて
抽選でプレゼント!

プレゼント ① [カシオ] EXILM
行事でも活躍! 離しても使える!
アクションカメラ 1名様

応募方法

同封のアンケート用紙またはWEBの応募フォームよりご応募ください。WEBの応募フォームよりご応募いただくと当選率2倍!!

カンコータイムズ

検索

WEB応募フォーム

プレゼント ② [カシオ]
授業に役立つ! 防水機能付き!
1,000秒 ストップウォッチ 2名様

プレゼント ③ [FCEエデュケーション]
部活と勉強の両立に役立つ中高生向けビジネス手帳
フォーサイト手帳 10名様



発行: 菅公学生服株式会社 カンコータイムズ編集部 田中亜子
メールアドレス: s-promotion@kanko-gakuseifuku.co.jp
TEL: 086(898)2590 FAX: 086(898)2513 [カンコータイムズ](#) [検索](#)



皆様からの投稿を募集しております。今回の投稿テーマは「卒業式」「入学式」です。
投稿およびご意見・ご感想、取材のご希望についてはメールアドレスもしくはWEBにて受付を行っております。
カンコータイムズはこれからも不定期に発行していきます。次号をお楽しみに。